

産業設備營團法案特別委員會會議事速記録第一號

(10)

付託議案 産業設備營團法案(政)

委員氏名

- | | |
|------|----------|
| 委員長 | 伯爵兒玉 秀雄君 |
| 副委員長 | 男爵安場 保健君 |
| | 公爵桂 廣太郎君 |
| | 侯爵井上 三郎君 |
| | 子爵大河内正敏君 |
| | 子爵保科 正昭君 |
| | 子爵高橋 是賢君 |
| | 藤原銀次郎君 |
| | 塚本 清治君 |
| | 男爵伊藤 一郎君 |
| | 男爵宮原 旭君 |
| | 竹内 可吉君 |
| | 太田 耕造君 |
| | 稻畑勝太郎君 |
| | 岩田 宙造君 |
| | 中山 太一君 |
| | 上野松次郎君 |
| | 中野 敏雄君 |

昭和十六年十一月十九日(水曜日)午後六時三十六分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ只今ヨリ委員會ヲ開會致シマス、商工大臣ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(岸信介君) ソレデハ産業設備營團法案ノ提案理由ヲ御説明致シマス、最近ニ於ケル時局ノ緊迫化ハ軍需産業、生産擴充計畫産業、代用品産業、不足物資産業

等ノ國家緊要産業ノ急速且大規模ナル増産ヲ要請スル所ガ極メテ切ナルモノガアルノデゴザイマシテ、之ニ對シマシテ政府ハ從來各種ノ事業法ノ制定、獎勵金、助成金等ノ交付等各般ノ施設ヲ講ジテ參リマシタガ、是等國家緊要産業ノ中ニハ、企業トシテノ危険性相當高キ等ノ事由ニ依リマシテ其ノ設備ノ建設又ハ維持ヲ一般事業者ニ期待スルコトガ著シク困難ナルモノガ尠クナイノデアリマシテ、是等ノ設備ノ建設ニ付キマシテハ、國家トシテ新タニ積極的ナル施設、援助ヲ行フコトガ現下ノ急務ナリト考フルノデアリマス、又第二國貿易ノ杜絶、輸送力ノ窮屈化等ニ因リ近時著シク過大トナリマシタ未動遊休設備ハ我が國戰時經濟ノ運営ニ幾多ノ好マシカラザル影響ヲ及ビ、アルノデアリマシテ、現有設備ノ高度ノ利用ト我が國ノ經濟總力ノ發揮ノ見地ニ立ツテ産業ノ再編成ヲ行ヒ、此ノ際ニ是等設備ノ中活用シ得ベキモノハ擧ゲテ之ヲ活用シ、整理シテ差支ナキモノハ「スクラップ」トシテ整理シテ、之ヲ再生活用ノ途ヲ圖リ、又ハ將來ノ生産擴充上緊要ナル施設ハ之ガ維持ニ必要ナル措置ヲ講ジ、以テ所謂重點主義生産ノ果敢ナル實行ヲ可能ナラシムルト共ニ、一面低物價政策ノ確保ニ資スルコトガ肝要ナリト存ズルノデアリマス、而シテ是等ノ施設ニ付キマシテハ統制會等ト緊密ニ連絡協調シ、其ノ實行ノ適正圓滑ヲ期スルコトガ必要デアリマスルガ、施設自體トシテハ國家トシテ行フヲ適當ト考ヘラレマスノ

デ、茲ニ是等ノ目的ヲ達成スル爲ノ母體機關タル重要使命ヲ擔當スベキモノトシテ、金額政府出資ニ係ル特殊法人産業設備營團ヲ設立シ、右營團ヲシテ政府ノ意圖ヲ奉ジテ國家緊要産業ノ設備ノ建設、貸與、出資、未動遊休設備ノ賣買保有等ノ業務ヲ行ハシメヨウトスル次第デアリマス、何卒十分御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス、尙右ハ提案理由ノ説明デアリマスガ、産業設備營團ノ事業計畫ノ大要ニ付テ御説明申上ゲテ置キマスコトガ御審議ノ上御便宜カト存ジマシテ、是ノ説明ヲ附加ヘテ致シマス、本營團ノ業務ハ今申シマシタ如ク、國家緊要産業ノ設備ハ事業者ニ於テ建設又ハ維持スルコト著シク困難ナルモノノ建設、貸付、出資、賣買ト云フノガ第一ノ業務デゴザイマス、第二ノ業務ハ未動遊休設備ノ賣買、保有活用ニ關スル業務デアリマス、本營團ノ資金ハ自己資金、自己資本二億、是ハ全部政府ノ出資ノ積リデアリマス、産業設備債券ガ其ノ五倍ノ十億、利用資金合計十二億トナツテ居リマス、但シ右資本金二億ノ内五千萬圓ハ政府カラ國庫證券ヲ以テ交付ヲ受ケテ、之ヲ基金トシテ積立テ、其ノ利息ヲ以テ營團ノ經費ニ充當スル考デアリマスノデ、結局本營團ノ事業資金ハ借入金ヲ別ト致シマスルト、取敢ズ十一億五千萬圓ト云フコトニナルノデアリマス、此ノ十一億五千萬圓ノ資金ヲ以テマシテ、先程申シマシタ二ツノ業務ヲ行フ譯デアリマス、ドウ云フ風ニ然ラバ之ヲ

割振ツテ事業ヲ行フカト云フ概要デアリマスガ、御話申上ゲル譯デアリマスガ、豫メ御斷リ申上ゲテ置キタイノハ何分ニモ本營團ノ業務ハ全然新規ノ事業デアリマシテ、是カラ申上ゲマスル數字モ今後設立委員ノ方々ニ御審議ヲ願フ際、或ハ正式ニ營團ガ設立セラレマシテ、具體的ニ事業計畫ヲ樹立致シマスル場合ニハ相當ノ變化モアルモノト豫想セラレマスノデ、本營團設置ノ案ヲ御審議ニナル御參考ノ程度ニ御聽キ取リテ願ヒタイト思ヒマス、又此ノ種ノ特殊法人ヲ設立致シマス場合ニハ、事業計畫ノ大要等ノ資料ヲ配付申上ゲテ御審議ヲ煩ハスノガ、御願ヒ致スノガ從來ノ例デアリマスガ、事業ノ性質上色々ナシイ數字等ニ付キマシテハ、對外的ニモ對內的ニモ此ノ關係數字ヲ公表スルコトハ支障ガアリマシテ、不適當ト考ヘマスノデ、誠ニ恐縮デアリマスガ、サウ云フ資料ヲ御配付申上ゲテ居ラナイノデアリマス、從ヒマシテ是カラ申上ゲル數字ニ付キマシテモ、サウ云フ意味御聽キ取リテ願ヒタイト思ヒマス、借、現在日本ニ未動遊休設備ノ現在高ガドレダケアルカト云フ問題デアリマスルガ、此ノ點ニ付キマシテ民間ノ方面ニ於キマシテモ之ヲ調査シテ、此ノ位アルト云フ風ヲ發表モ一、二アリマスケレドモ、私共各種重要産業ノ部門ニ互リマシテ、商工省トシテ相當ノ調査ヲ致シマシテ、之ヲ基礎トシテ考ヘテ見マスルト云フト、大體二十四、五億程度デハナイカト、斯ウ思ツテ居リマス、處ガ民間團體等

ノ調査ニ依リマシテ、是ヨリモ非常ニ大キナ數字ガ發表サレテ居ルモノモアリマスガ、是等ノモノハ實ハ調査ノ基礎ガ違フテ居ルノデアリマシテ、民間ノ調査ニ依リマス云フト、苟モ今日動イテ居ラナイ設備ハ、建設中ニアルモノハ悉ク未動施設トシテ計算シテ居ル、處ガ私共ノ方デ未動施設トシテ擧ゲテ居リマスモノハ計畫ニ從テ建設サレテ居ル、其ノ計畫通り行ッテ居リマスモノハ、若シクハ計畫ニ近イ形ニ於テ是ガ完成サレルト云フ風ナモノハ茲ニ未動施設トシテ擧ゲテ居ラナイノデアリマス、色々ナ關係デ建設ノ途上ニ於テ殆ド完成ノ見込ガ立タヌト云フ風ナモノ、又近ク迎モ完成スル譯ニハ行カナイト云フヤウナモノヲ取リ上ゲテ未動施設ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ中小工業方面ノモノハ大體更生金庫ガ丁度ニ代ルヤウナ仕事ヲスルコトニナッテ居リマスノデ、其ノ方ノ設備等ハ之ニ含まレテ居ラナイト云フヤウナ關係上、今申シマシタヤウナ二十四、五億ト云フヤウナ數字ニ相成ッテ居ルノデアリマス、尙又人造石油デアルトカ、或ハ金屬鑛山等ノ施設ニ付キマシテハ御承知ノヤウニ從來投資、融資ノ特別ノ機關ガ出來テ居リマスノデ、其ノ方ノ設備等ニ付キマシテハ、此ノ營團ノ基礎トシテノ數字ニ取入レテ居ラヌト云フヤウナ關係デ、民間ノ方面デ發表サレテ居ル數字トノ間ニ相當開キガアルノデアリマスガ、私共ノ方ハ各種重要産業ノ部門ニ付テ、今申シタヤウナ標準デ、現實ニ當テノ計算デアルコトヲ御承知願ヒタイト思ヒマス、處デ其ノ未動遊休設備ノ存在ガ一面ニ於キマシテハ原價高ノ原因トナッテ經濟界ニ惡影響ヲ與ヘテ居ルト云フ

コトハ御推察出來ルト思フノデアリマシテ、現下ノ情勢ハ所謂重點主義生産ヲ敢行シテ、我が國國民經濟ノ生産性、經濟性ヲ昂揚スルコトガ極メテ急務デアルノデアリマス、此ノ重點主義ノ實行ハ反面ニ於テ、完全ニ操業ノ出來ナイヤウナ工場モ出デ參リマスシ、從ッテ是等ノ工場ノ處理對策ト云フモノガ別途講ゼラレテ居リマセヌト云フト、此ノ重點主義生産ヲ徹底スルコトガ實際問題トシテ困難ノアルヤウナ狀況デアリマス、從ッテ重要産業ノ部門ニ於キマシテモ、徹底セル整理統合、再編成計畫ヲ樹テマシテ、之ヲ實行シテ行クト云フ上ニ於キマシテハ、未動遊休設備ニ付テ適當ナル處理ヲ考ヘテ行クト云フコトガ、是非トモ必要トナッテ來ルノデアリマス、又一面此ノ夏以來、從來我が國ガ主トシテ資材、器材等ヲ輸入シテ居リマシタ、英米其ノ他ノ國々ガ日本ニ對シテ資産凍結ヲ行ヒマシタ結果、外國カラ物ガ入ッテ來ナイ、急イデ自給經濟ヲ樹テナケレバナラナイ、ソレニ生産設備ノ今申シマシタヤウナ重點主義生産ヲ行ッテ行ク必要ガアルト共ニ、從來國內ニ於テ色々ノ形デ蓄積セラレテ居ル所ノ資材ガ活用サレテ居ラナイト云フナラバ、之ヲ總動員シテ活用スル必要モ極メテ緊切ナルモノガアルト思フノデアリマス、現ニ鐵、銅等ノ「スクラップ」ノ回收ヲ行ッテ居ルノモ其ノ理由ニ出テ居ルノデアリマスルガ、現在ノ日本ノ工場ヲ見マスト云フト、未動遊休施設ノ中或部分ハ「スクラップ」トシテ、鐵其ノ他ノ再生ヲ圖ルニ適當ナ、又サウスルコトガ此ノ狀況ニ於テ緊要デアルト云フヤウナ部分モアルト思ハレルノデアリマス、何レニシロサウ云フ意味ニ於キマシテ、未動

遊休施設ノ活用ヲ圖ルト云フ事柄ガ極メテ必要ナ狀況デアリマス、次ニ刻下緊要産業ノ設備ノ建設モ必要デアリマスガ、是ハ從來ト雖モ生産擴充計畫産業ニ付キマシテハ資材、勞力、資金等ノ特別ノ計畫ノ下ニ配給シテヤッテ來テ居リマスガ、併シ此ノ事業ノ中ニハ一方ニ於テ斯ウ云フ状態ニ差迫リマシテ、一日モ早く物ヲ生産シナケレバナラヌト云フモノガアリナガラ、將來ノ見透シカラ申シマスト云フト、必ズシモ其ノ事業ガ將來長ク採算的ニ考ヘラレルト云フモノデモナク、又或物ハ技術的ニ相當ムヅカシイト云フヤウナ事情モアリマシテ、單ニ今迄ノヤウナ方法デ事業者ニ之ガ建設ヲ求メマシテモ、ナカク出來ナイト云フヤウナモノモ段々出來テ來テ居ルノデアリマス、適例ノ一ツトシマシテ、最近「アルミニウム」ニ付テ申シマスト云フト、從來南洋方面カラ「ボーキサイト」ヲ輸入シテ製造シテ居リマシタガ、然ルニ資産凍結ニ因リマシテ「ボーキサイト」ノ輸入ガ杜絶シタ、而モ「アルミニウム」ノ生産ハ國防上極メテ緊要デアアル、此ノ際國產ノ礬土頁岩ヲ原料トシテ之ヲ造ラセヨウ、斯ウシマスト從來「ボーキサイト」ニ依ル「アルミニウム」ノ製造設備ダケデハ足りナイノデアリマシテ、之ニ「セメント」ノ遊休設備タル「ロータリーキルン」ヲ使用シテ礬土頁岩ヲ焙燒スル附屬設備ガ必要デアリマスガ、處ガ此ノ設備ハ將來「ボーキサイト」ガ再ビ輸入サレルト云フ時ニナリマスト不要ニナル譯デアリマス、斯様ナ設備ニ付キマシテ假令資材、資金等ノ方法ハ立チマシテモ、ナカナカ事業者トシテハ、サウ云フ意味ニ於テ之ノ全部ヲ負擔シテ、國家ノ爲ニヤルト云

フコトハナカク困難デアリマス、又其ノ危險ヲ慮ッテ「アルミニウム」ノ價格生産費ヲ振り掛ケテ非常ニ高クスルト云フコトハ是ハ亦色々ノ意味デ許サナイト云フ事情モアリマスノデ、斯ウ云フ場合ニ於テ此ノ營團ガ代ッテ其ノ「ロータリーキルン」ヲ設備シテ、之ヲ出來ルダケ低廉ナ賃賃料ヲ取ッテ會社ニ使用サセル、サウスルト會社トシテハ礬土頁岩ヲ原料トシテ立派ナ「アルミニウム」ヲ造ッテ、「アルミニウム」ノ原價ヲ高クセシメズニ出來ルト云フ場合ガ適例ノ一ツデアルト思ヒマス、是モ御承知デアルト思ヒマスガ、「アメリカ」ニ於キマシテモ斯ウ云フヤウナ制度ヲ以テ數年前カラヤッテ居リマシテ、貸付等ニ付キマシテハ、極ク「ノミナル」ノ設備ヲ年一「ドル」デ貸スト云フヤウナ事例モアルヤウニ聞イテ居リマス、又其ノ他戰時中ニハ非常ニ需要ガアルガ、戰後ニ於キマシテハ需要ガ激減スルト云フ見透シノモノニ相當ナ設備ヲシナケレバナラヌ、ソレヲ作レ、斯ウ申シマシテモナカナカ業界ガ一切ノ危險ヲ負擔シテハ出來ナイ、又技術上ニモ色々ナ不安ガアリ、ヤッテ見ナイトヨク分ラナイト云フモノニ付キマシテハ、ナカク事業家トシテ手ヲ出シ兼ネルト云フモノガアルト思ヒマス、斯ウ云フヤウナ方面ニ關シマストモハ此ノ營團ガ必要ナ設備ヲシテ貸付スルト云フヤウナ形ヲ採ッテ參リタイト考ヘルノデアリマス、最後ニ事業ノ大要ト之ニ對スル資金ノ割當、收支目論見ノ概要ヲ御説明申上ゲマスト、戰時中維持ヲ必要トスル設備ノ買取保有、是ハ又將來色々ナ時代ガアリマスノデ、今「スクラップ」トシテ廢棄スル譯ニイカナイ、此ノ營團ガ代ッテ維持シテ置カナケレバナラヌ

ト云フヤウナ設備ノ買取保有ノ案デアリマスガ、是モ色々ナ見方モアリマセウガ、私共三億乃至四億ノサウ云フモノガアルノデハナイカト考ヘテ居リマス、サウシテ斯ウ云フ設備ノ維持費、倉敷料、移轉費、總テ營團ノ損失トナリマスガ、先ヅ一應昭和二十年度迄ノ間ノ計算ヲシテ見ルト、其ノ累計一億一千七百萬圓ノ損失ニナルモノト思ハレルノデアリマス、ソレカラ整理廢棄スベキ未動遊休設備、是ハ此ノ營團ガ引受ケテ之ヲ整理廢棄シマシテ、「スクラップ」トシテ他ニ用ヒルト云フヤウナモノデアリマシテ、其ノ總額ハ約二億六千萬圓程度ニ之ヲ豫想致シテ居リマス、此ノ場合ニハ之ヲ「スクラップ」トシテ賣ツテ、「スクラップ」ノ價格ヲ差引イタモノガ損失ニナリマスノデ、損失トシマシテハ一億二千五百萬圓程度ノ損失ガアルモノデハナイカト云フコトヲ豫想致シテ居リマス、又未動遊休設備ノ活用ノ爲ニスル賣買、活用シ得ル未動遊休設備ハ私共ノ調査ニ依リマスト云フト、約二億六千萬圓餘ニ達シテ居リマスガ、其ノ大部分ガ政府直接ノ活用措置、又營團ノ斡旋ニ依ツテ活用出來ルト思フノデアリマシテ、本營團ガ此ノ意味ニ於テ一時買取ツテ上デ適當ナ利用者ニ賣却スルト云フ部面ハ比較的少イノデアリマス、先ヅ三千萬圓程度デヤナイカト豫想致シテ居リマス、右ノ買取設備ノ一時の保有ニ要スル金利トカ、或ハ買取價格ト賣却價格トノ差損金モ此ノ營團ノ損ニナル譯デアリマシテ、是ハ極ク僅カデ、六百萬圓餘デヤナイカト云フヤウニ見テ居リマス、ソレカラ次ニ國家緊要産業設備ノ建設、貸與、出資、賣買デアリマスガ、國家緊要産業トシテ此ノ際ヤラナケレバナラス仕事ハ

色々アリマスガ、是等ノ國防上其ノ他ノ關係デドウシテモ是ダケノモノヲ急速ニヤラナケレバナラスト考ヘラレマスルモノヲ合計シテ見マスルト、約七億八千萬圓程度ノモノガ其ノ方面ニ要ルノデヤナイカト云フヤウニ考ヘテ居リマス、是ハ建設設備ノ出來上リマシタ上デハソレヲ貸貸スルカ、或ハ業者ニ現物出資スルカト云フヤウナ方法ヲ採ル譯デアリマシテ、何レニシテモ貸貸料及ビ現物出資シタ場合ニ於キマシテハ、現物出資ニ對スル配當金ノヤウナモノガ豫定出來マスノデ、或種ノ收入ガ考ヘラレルノデアリマス、併シソレハ餘リ多額ノモノデハナイト思ヒマスガ、兎ニ角サウ云フモノガ考ヘラレマス、尙債券ヲ發行シマスレバ債券ノ利拂ガアルノデアリマス、總額十億ノ債券ガ發行サレマシタトシマシテ、利拂ハ一億一千六百五十萬圓ニ上ル譯デアリマス、從ヒマシテ是等ノ方面ニ、大體資金ヲ振當テテ、今申シヤウナ各方面カラノ損失金ト云フモノガ此ノ營團ガ受ケル、斯ウ云フコトニナルト思フノデアリマスガ、大體其ノ損失金ハ昭和二十年度迄ノ分ヲ合計シマス、約三億一千萬圓程度ニ上ル見込デアリマス、從ヒマシテ其ノモノニ對シマシテハ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ御願ヒ致ス譯デアリマスガ、本議會ニハ取敢ズ八百五十萬圓ノ損失補償金ヲ計上致シテ居リマス、是ハ昭和十六年度ノミノ業務ニ依リマシテ、昭和十九年度迄ニ被ルベキ損失ヲ豫想シテ斯ウ云フ風ナ案ヲ立テテ居リマス、ソレハ更ニ通常議會ニ其ノ他ノモノハ追加スルコトニ相成ルト思フノデアリマス、尙先程カラ申シマシタ未動遊休施設ノ中、更ニ營團ガ引受ケルモノハ其ノ一

部デアリマシテ、其ノ他ノ部分ハ結局業者個個ニ、若シクハ業者ノ團體ニ依ツテ之ガ保有サレルト云フコトニ相成ルト思フノデアリマス、言フ迄モナク現在ノ未動遊休施設ノ多クノモノハ他日日本ノ東亞共榮圈ガ確立セラレ、東亞ニ於ケル貿易關係ガ正常ノ形ニ歸リ、更ニ第三國ニ對スル貿易關係ト云フヤウナモノヲ考慮シテ見マス、今日ハ未動遊休施設ト一口ニ申シマスケレドモ、是ハ其ノ時ニ於キマシテハ、日本ノ海外ニ發展スル産業ノ基礎トシテ相當大事ナモノデアリマシテ、之ヲ保有シテ置クコトハ無論必要ナラザリマス、併シ一面其ノ設備ノ中ニハ既ニ廢棄スベキモノ、又國家ノ現實ノ必要ヲ充タス爲ニハ或場合ニ於テハ惜シイ物デアツテモ、ヨリ大キナ現實ノ必要ガアツテ、之ヲ他ニ轉用スルトカ、或ハ之ニ依ツテ他ノ重要物資ノ生産ノ資材ニ充テルト云フ風ナ事柄ガ必要デアルモノニ付キマシテハ、其ノ方面ニ活用スルト云フコトニ相成ルト思フノデアリマス、大體業務ノ極ク概要ニ付テ御參考迄ニ御説明申上ゲタ次第デアリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 只今商工大臣ノ御説明ヲ承ツタノデアリマスルガ、此ノ際ニ何か參考資料ノ御要求ガアリマスレバ御申出ヲ願ヒタイト思ヒマス、御手許ニ差上ゲマシタ參考資料ハ、衆議院ニ提出セラレマシタ全部ノ物デアアルサウデアリマス

○男爵伊藤一郎君 先程チヨット御話ガアリマシタケレドモ、遊休設備ノ表ハ、衆議院デ請求シテ居ラレマスガ、先程ノヤウナ理由デ以テ戴ケマセヌデゴザイマスカ

○國務大臣(岸信介君) 是ハ實ハ詳シイ表ハ出サヌコトニ致シテ居リマスルガ、唯委員會ノナンデ以テ衆議院デモ祕密會ニシマシテ、或程度ノ數字、各業種ニ付テノ我々ノ調査ニ基ク所ノモノハ申上ゲタノデアリマス、或ハ之ヲ委員會ノ御審議ノ際ニモ、一應サウ云フコトモ申上ゲル必要ガアルト思ヒマスガ、表トシテハ差出スコトハ、差控ヘタイト思ヒマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 其ノ外ニ何か御發言ゴザイマセヌデスカ、——御發言ガナケレバ、又他日必要ナル資材ハ頂戴スルコトニ致シマシテ、今日ハ此ノ程度ニ止メテ置キマシテ、明日午前十時カラ質疑ニ入りタイト思ヒマス、ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス

午後七時二分散會
出席者左ノ如シ

- | | |
|------|---|
| 委員長 | 伯爵兒玉 秀雄君 |
| 副委員長 | 男爵安場 保健君 |
| 委員 | 公爵桂 廣太郎君
侯爵井上 三郎君
子爵保科 正昭君
藤原銀次郎君
塚本 清治君
男爵伊藤 一郎君
男爵宮原 旭君
太田 耕造君
岩田 宙造君
上野松次郎君
中野 敏雄君 |
| 國務大臣 | 商工大臣 岸 信介君 |
| 政府委員 | 商工省總務局長 神田 暹君
商工書記官 赤間 文三君 |

昭和十六年十一月二十日印刷

昭和十六年十一月二十一日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局